売茶翁生誕350年特別展**「売茶翁と若冲」**

**開催要項**

**１　展覧会名称**

　　売茶翁生誕350年特別展「売茶翁と若冲」

**2　会　　　　期**

　　令和7年（2025年）10月7日（火）～11月24日（月）

　　　開館日数 43日間　開館時間9時30分～18時

　　　休館日：毎週月曜日（休日の場合は翌日）

**3　会　　　　場**

　　佐賀県立美術館2号・3号・4号展示室

**4　主催**

　　売茶翁と若冲展実行委員会

　　（佐賀県､佐賀市､佐賀新聞社､サガテレビ､NPO法人高遊外売茶翁顕彰会）

**5　助　　　　成**

　　一般財団法人地域創造

**6　趣　　　　旨**

　　No Baisao, No Jakuchu.　売茶翁なくして若冲なし。

　　江戸時代半ば（18世紀中・後期）の京都に禅僧でありながら、自ら煎茶を売り生計を立て、「売茶翁」と称した一風変わった人物がいました。その人物は、僧名を月海元昭、のちに還俗して姓を高、名を遊外と名乗りました。

　　売茶翁（1675～1763）は、佐賀藩の支藩蓮池藩の家臣の四男として生まれ、黄檗禅の寺院で出家し、各地を訪ねて修行を重ねます。やがて従来の僧侶の在り方に疑問を感じ、「僧であることを誇って人の施しを受けるのは、自分の本意でない」と考えた売茶翁は、61歳（享保20年〈1735〉）頃、京都で茶店「通仙亭」を開き、名勝地などに出かけては、煎茶を振る舞い、客に煎茶の代金を委ね、その僅かな煎茶代等で生活するようになり　　ます。

　　あえて自ら市井に身を置きながら、本質的な禅僧のあり方を独自に追求し、生涯を　　通じて体現しようとした売茶翁の元には、彼のよき理解者であった法弟の大潮元晧の　ような禅僧だけでなく、共鳴するように分野を超えて画家・書家・儒学者といった知識人・文化人たちが集い、交流しました。

　　個性的な画風で有名な京都の画家、伊藤若冲（1716～1800）もその一人です。宝暦10年（1760）86歳の売茶翁は、45歳の伊藤若冲が制作中であった《動植綵絵》（国宝／宮内庁三の丸尚蔵館蔵）をみて、若冲の画技を称賛し、「丹青活手妙通神」の書を贈りました。若冲はその文言を刻み、印を捺した作品（《動植綵絵》のうち蓮池遊魚図、牡丹小禽図、池辺群虫図の3幅 等）を残しています。また、日本の人物を画題として取り上げることが稀であった若冲が、売茶翁の肖像画だけは10例近く手掛けたという事実からも、若冲がいかに売茶翁を深く敬慕していたかを窺い知ることができます。

　　売茶翁の肖像画を手掛けた画家は、南画家の池大雅や彭城百川、売茶翁の没後は、　　田能村竹田、その養子の田能村直入、あるいは富岡鉄斎が描き、没後においても売茶翁が尊敬を集め、追慕されたことを示しています。

　　本展では、売茶翁の生誕350年を契機として、売茶翁と若冲の交流を示す作品を中心に取り上げ、いかに若冲をはじめとする画家たちに影響を与えたのかを探り、御紹介します。

**7　展示内容（予定）**

1. 売茶翁と若冲
2. 売茶翁の生き方　－佐賀の黄檗僧月海元昭から京都の売茶翁へ―
3. 画家たちの売茶翁への眼差し

**８　関連イベント（県立美術館）（予定）**

　（１）記念講演会

　　　　日時：令和7年10月25日（土）13時30分～15時

　　　　会場：美術館ホール

　　　　講師：狩野 博幸 氏

　（２）若冲画パフォーマンス

　　　　日時：令和7年10月11日（土）13時30分～15時

　　　　会場：美術館ホール

　　　　講師：岡原 闘鶴氏

　　　　　　　村田 隆志氏

　（３）博物館・美術館セミナー

　　　ア　「売茶翁の生き方」

　　　　日時：令和7年11月1日（土）13時30分～15時

　　　　会場：美術館ホール

　　　　講師：福井 尚寿（当館長）

　　　イ　「それぞれの売茶翁像」

　　　　日時：令和7年11月15日（土）13時30分～15時

　　　　会場：美術館 画廊2階

　　　　講師：安東 慶子

　（４）学芸員によるギャラリートーク

　　　　日時：　※調整中　14時～（各回30分程度）

　（５）あらかしコンサート

　　　　日時：令和11月2日（日）14時～15時　※調整中

　　　　会場：美術館ホール

　　　　参加料：無料

　（６）アウトリーチプログラム

　（７）SAGA GAYA Museum　等

**９　関連イベント（サテライト会場（肥前通仙亭及びその周辺））（予定）**

　　①　売茶翁の一茶壺～秋の茶会～

　　　　売茶翁が求めた世界観を体感する茶会（煎茶席３席）

　　　　日時：令和7年10月12日（日）午前、午後

　　　　会場：旧古賀家　　※有料、各回２０～３０名

　　②　東福寺（京都府）「売茶翁の偈語（げご）に親しむ会」

　　　　東福寺塔頭同聚院岡本弦親住職をお招きして、売茶翁の偈語を読み解く

　　　　毎月16日に肥前通仙亭で開催している禅の会の特別版

　　　　日時：令和7年10月16日（木）午前、午後

　　　　会場：旧古賀家　　※有料、事前予約、各回３０名

　　③　みんなで楽しむお茶会（仮称）

　　　　個性豊かなお茶愛好家によるお茶会

　　　　日時：令和7年10月18日（土）時間調整中

　　　　会場：肥前通仙亭　　※有料、人数制限なし

　　④　寺崎正氏によるトークイベント

　　　　高遊外売茶翁顕彰会に数多くの売茶翁関連作品を寄贈された古美術店『古美術白水』（東京都）の店主寺崎氏をお迎えしてのトークイベント

　　　　日時：令和7年10月24日（金）午前、午後

　　　　会場：肥前通仙亭　　※予約優先、各回４０名

　　⑤　ノーマン・ワデル氏講演会

　　　　『売茶翁の生涯』の著者、ノーマン・ワデル氏による講演会

　　　　日時：令和7年11月9日（日）時間調整中

　　　　場所：旧古賀銀行　　※２００名程度

　　⑥　岡原闘鶴先生の小個展

　　　　10月11日（土）「若冲画パフォーマンス」に出演の岡原闘鶴先生の作品を肥前通仙亭に展示（詳細は調整中）

**10　問い合わせ先**

　　佐賀県立博物館・佐賀県立美術館

　　　【担当】学芸課　博物系担当係長 渡部芳久

博物系担当 主事・学芸員　安東慶子

　　　〒840－0041　佐賀県佐賀市城内1丁目15－23

　　　Tel：0952－24－3947　Fax：0952－25－7006

　　　Mail：[hakubi@pref.saga.lg.jp](mailto:hakubi@pref.saga.lg.jp)